

重点的に取り組むべき課題

1. 障がい者の一般就労支援

《課題》

- ①障がい者雇用に関する企業への啓発が不十分。
- ②各機関の取り組みに関する情報共有が不十分。
- ③一般就労後のフォロー体制が不十分。

《改善に向けて》

京都西陣公共職業安定所園部出張所、なんたん障害者就業・生活支援センター、南丹市が、それぞれの取り組みが最大限の効果を発揮するように連携・役割分担できる体制を確立する。

2. 障がい児の就学支援

《課題》

- ①不登校の受け皿として放課後等デイサービスの利用が増加している。まずは保護者・教育機関が登校に向けた手立てを実施し、福祉制度が必要に応じて補完するという共通認識が確立されておらず、家庭支援も含めて福祉制度に委ねられる傾向がある。
- ②支援学校の通学バスにおいて、下記のような問題がある。
 - A)バス停までは保護者が送迎するルールとなっており、保護者が送迎できない時に生徒がやむを得ず休学する事例があった。
 - B)保護者の出勤時間に間に合うよう、遠くのバス停まで送迎している場合がある。美山町では最南端（原区）までしかバスが来ない。
 - C)寄宿生は週末の帰省時に乗車できないルールとなっている。

《改善に向けて》

保護者、学校、教育委員会、福祉サービス事業所、福祉部局が、お互い補完しあうように連携・役割分担できる体制を確立する。

3. 南丹圏域障害福祉事業者等の研修プラン策定

《課題》

- ①虐待が疑われるような事例があっても、依然として行政への通報義務を果たさない福祉事業者が見受けられる。
- ②障害者差別解消法の施行などにより、利用者への接遇を改善する必要がある。

《改善に向けて》

南丹圏域の福祉事業者全体のレベルアップを図るため、南丹保健所、結丹、亀岡市、京丹波町と連携し、虐待防止・障害者差別解消法への対応など、福祉事業者の意向も取り入れた中期的な研修プランを策定し、計画に基づいた研修を実施する。